

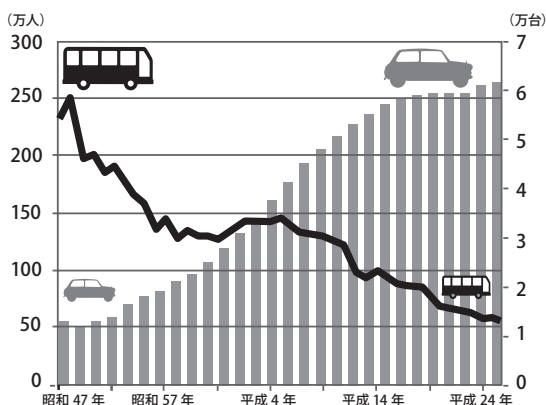
市内バス路線の現状と課題

持続可能なバス路線への再編を目指して



野幌駅北口を発着するバス

市内完結バス路線の輸送人員実績と自動車登録台数の推移



ピークから200万人減止まらない利用者減少
江別市では昭和34年から路線バスが運行され、生活に欠かせない日常の足として利用されてきました。

江別市内を運行するバス路線は、利用者の減少に伴い、現状のままでの存続が難しい状況になっています。そこで市では、市内全体のバス路線の再編について検討を始めました。

しかし、昭和40年代後半からの自家用車の普及に伴い、バス利用者数の減少が顕著となってきました。たとえば他市町村をまたがないで運行しているバス路線（市内完結路線）では、ピーク時の昭和48年度、年間約254万人から、平成26年度には約52万人と8割も減少しています。

この間、バス事業者は路線の見直し、減便などの合理化のほか、ICカードの導入など利用者サービスの向上に努めてきましたが、このまま利用者の減少が続くと、さらなる路線の縮小などが懸念されます。

一方で今後、高齢化が進行し、免許を返納するお年寄りなど利用者の増加が見込まれることから、持続可能な路線バスの再編は、市の重要な政策課題となっています。

赤字を抱える路線バスの現状

市内全路線で膨大な赤字

市内の路線バスは、収支が確認できた16路線（高速バスを除く）全てが赤字となっており（昨年度）、国や道、市が補助金で補っても、赤字額は年間約8千500万円になります。

そのうち、市内を毎日運行している市内完結3路線に限っても、年間の赤字額は合計約5千500万円に上ります。

市では、これまでバス業者に運行費用の一部補助を行ってきましたが、赤字額は年々増加傾向にあるため、路線バスの存続は依然として厳しい状況です。

インタビュー 路線バス事業者の声

路線バスの利用者が減少している要因としては、通勤・通学での利用、特に夏場の高校生の利用減少が大きく、高校生の利用はピーク時から1/3程度まで減少しています。

利用者だけではなく、乗務員が不足していることも路線バスの減便の背景にありますので、病院への路線などの要望は寄せられていますが、対応が難しいのが実情です。厳しい状況ですが、できるだけ通勤、通学などに路線バスを利用してもらえるように努力していきたいと考えています。



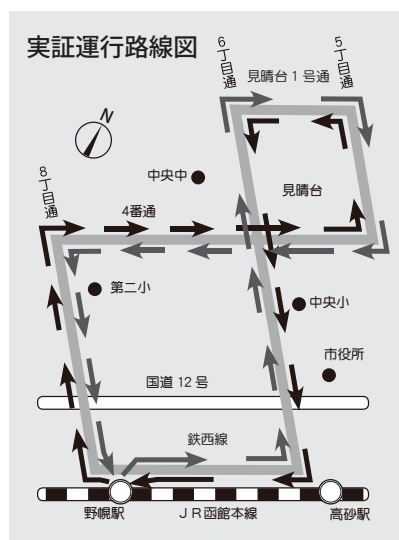
夕鉄バス野幌営業所 佐藤憲明 所長

「生活の足」を守るために

実証運行の結果と課題

路線バスの再編に向けたデータ収集などを目的に、平成27年10月～平成28年2月の間、JR野幌駅と見晴台方面を短時間で結ぶ路線の実証運行を行いました。

その結果、見晴台方面からJR野幌駅へ短時間で移動できることが高く評価され、新規のバス利用者が増加したものの、採算面での課題も浮き彫りになりました。また、実証運行と同時期に実施したバス利用者などに対するアンケートでは、朝や夜間の通勤・通学時などにおける増便や、実証運行路線の本格運行



アンケート結果 (バス利用者: 回答 2,509 件※複数回答可)

意見・要望	件数	割合
運行便数を増やして欲しい	592	23.6%
実証運行路線の本格運行	232	9.2%
既存バス路線のルートに対する不満	199	7.9%
運行時間(始発・最終)の見直し	169	6.7%
現状で満足	138	5.5%
JR駅との接続を改善してほしい	132	5.3%
停留所を新設してほしい	104	4.1%

を望む声も多く、新たな利用者増への可能性も見えてきました。

平成30年のバス路線再編に向けて

市では、市内バス路線全体を見直し、課題の解決と持続可能なバス路線への再編をするため、平成28年8月に「江別市地域公共交通活性化協議会」を新たに設置しました。

この協議会は、公共交通事業者や利用者、学識経験者、関係機関などで構成され、今後のバス路線の再編に必要な具体的な方向性を定め、平成30年のバス路線再編を目指します。

江別市地域公共交通活性化協議会を設置(平成28年8月)



公共交通再編計画を策定します



平成30年秋以降再編後のバス路線を運行開始予定



課題を解決し、持続可能な「生活の足」となる路線バスへ!

路線バスを利用しましょう

バス路線は利用者が減少し、事業採算性が見込めなくなると減便・廃止となります。存続のためには、多くの方に路線バスを利用していただくことが必要となりますので、例えば通勤通学、お酒を飲む日などは、路線バスの積極的な利用をお願いします。

【詳細】政策推進課住環境活性化・公共交通担当 ☎381

インタビュー 路線バス利用者の声

私は通院のために路線バスを利用しています。70歳までは車を運転していましたが、持病もあり、免許を返納してバスを利用し始めました。駅や市立病院に向かう路線があり便利ですが、乗り換えの待ち時間が負担に感じます。電車など、他の公共交通機関と連携して、より利用しやすくなることが必要だと感じますね。これまでも路線バスの減便や廃線が行われましたが、路線が維持できるようバス事業者の方々にも、利用者が増えるような対策を考えるなど、頑張ってもらいたいです。



大槻規夫さん(79歳)
大槻規夫さん(79歳)
千葉規夫さん(79歳)

路線マップで便利にバスの利用を!

市内全域のバス路線が一目でわかる、「えべつ市内バス路線マップ便利ガイド」を下記の公共施設などで配布しています。また市ホームページにも掲載していますので、ご利用ください。

バス路線マップ配布場所一覧

市役所本庁舎/市役所大麻出張所/市内各公民館/市内体育館/情報図書館/郷土資料館/市民会館/河川防災ステーション/総合社会福祉センター/保健センター/シルバー人材センター/いきいきセンターさわかち/デイサービスセンターあかしや/いきいきセンターわかくさ/北海道中央バス江別営業所/夕鉄バス野幌営業所

バス路線マップのダウンロードはこちら



スマートフォンなどで、左のQRコードを読み込んでください

江別 バス路線マップ

検索

